



放課後デイサービスまごころライト

みんな大好きクッキング！！

毎日色々な主活動を実施していますが、特にクッキングの週はみんな学校終わりでお腹ペコペコ。完成をまだかまだかと張り切って参加してくれます。そんなみんな大好きなクッキング。以前までは事前に「お好み焼き」など、何を作るか予告しての実施でしたが、ここ最近では「〇〇を使った軽食」「和菓子」などのお題だけを提示し、後は来てからのお楽しみシステム！今日は何作るの？など、子ども達との会話も広がり、自分の好物だと、やったー！と積極的に参加しにきてくれたりして案外上手くいっています。さて来月のお題は何にしよう…。



放課後デイサービスまごころレフト



子どもたちが作ってくれた白魚のような透き通ったこいのぼり。気持ちよく大空を泳いでいますね。最近干物のように下に吊り下げられたこいのぼりを多く見かけます。そのたびに寂しい気持ちになります。

日本文化の体験は貴重で、特に「こどもの日」は1年で一番大切にしている祝日です。これからも子供たちがのびのびと健康に育っていきけるように祈る気持ちで飾らせていただきました。同時に「背比べ」と手形も粘土に残しました。

みんなの健やかな成長を祈っています。 諫山

デイサービス通信



手形のアート

今年「まごころ」が25周年を迎え、記念イベントのアート制作に取り組んでいます。

先ず、デイサービスの利用者・職員らから皆さんの『手形』をとらせていただきました。ピンクと赤に染めた両手を挙げて記念撮影も行いました。自分の手形を見て「記念に欲しいわ...」とおっしゃる方もいて、初体験の中で制作の素材作りが進んでいます。『手形』は大勢の関係者からも集めたいと思っています。

さて何が出来るか？7月22日のiビルにてお披露目いたします。どうぞご覧ください！



手形の制作



浅野公園へツツジ散策

つぶやき



生存年記録

この度、北海道在住の112歳の野中正造さんを、男性としての最高齢者とギネスブックが認めたと報じられた。いろんな分野でギネス記録に挑む映像をテレビで何度も観ているが、これは実にめでたい生存記録だと思う。

また大勢の学童が気持ちを合わせ大縄跳びに挑む情景には感動させられたが、大勢の人と大量の食材を用意し、長い長い巻寿司を一気に巻き上げたのは、単に記録に挑むためだけの行為で、何やらくだらない挑戦に思えた。

今年の8月で私は頸椎損傷で全身不随となって丸60年も生きている。受傷当時は頸椎を損傷したら命はないとされていたので、この生存記録はもしかしたらギネスブックに認められるのではあるまいか。しかし入院中ステッキ一本で歩いて訪ねて来た青年が私と同病だと名乗り、症状の軽さに驚かされたもので、彼ならもっと長生きするかもしれない。

そこで見方を変えてみた。私は受傷入院以来、ほとんどベッド上で生活していて、偶の外出は全て車椅子を利用するので、つまり頸椎損傷になってから手も足も一切大地に着けることなく生きて来ているのだ。この生存記録はかなり珍しいのではなかろうか。

けれど世界は広い。もう10年頑張って70年に記録を伸ばせたら、大地に一切着かない生存年記録としてギネスブックに申請してみようと思面目に考えている。

大目標ができたことで私の寝たきりの生活も、何だか楽しく送れそうである。

ギネスブックに楽しく挑む車椅子

澤田 清敏

ケアマネジャーの目

5月12日一宮市内で放火のニュースを知りました。新聞報道によると、その家に住む高齢男性が、運転免許証の返納を巡り家族とトラブルになり、腹を立ててストーブに布団をかけた、とのこと。私たち、介護保険に関わる仕事上、運転免許証の返納についてはやはりとても悩まされます。

現在のところ、本人の意思で返納できれば一番良いのですが、なかなかそうはいきません。様々な病状により判断が難しくなったり、独居・高齢者世帯や交通手段の問題などで、手放せない方も。警察署での運転免許証の更新時の指導や、病院受診時の医師の診断などにも何かしらの強制力が必要なのでは？自由に行動できるプライドや便利と引き換えに、痛ましい事故が増えるのでは？と心配は尽きません。

～知っておきたいヘルパーの知識～

「健康寿命を延ばすには歯と

口のケアが大事」

6月の4日～10日を歯と口の健康週間といい、歯や口の中の健康を見直す一週間、もともと、6月4日が6(む)4(し)と読めることから6月4日を虫歯予防デーにしたのが始まりだそうです。

毎日無意識にしている「噛む」という行為は単に食べ物、栄養を体に取り入れるだけでなく、実は健康寿命を延ばすために重要な行為なのです。

噛む事の大切さを知ること、肥満を防いだり、胃腸の疲れが少なくなったり、体力の向上につながり、発音や表情もよくなります。

